

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程

〔正規学生(一般・推薦)〕

〔特別学生(社会人)〕

〔特別学生(外国人留学生)〕

日本文学・日本語学領域

〔日本文学・日本語学〕

試験科目

専門外国語科目

受験番号

番

次の問題【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】から二題を選び、各々直接解答しなさい。したがって、提出の際は選択した二枚となる。

↓ 解答記入不可

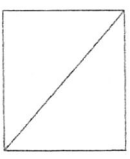
【Ⅱ】

著作権等の関係により問題公表しない。

出典 『撰集抄』

3 枚中

2



<b>文学研究科入学試験問題（解答別紙・直接解答）</b>		
博士課程前期課程 〔正規学生（一般・推薦）〕 〔特別学生（社会人）〕 〔特別学生（外国人留学生）〕	日本文学・日本語学領域 〔日本文学・日本語学〕	試験科目 専門外国語科目
受験番号	番	

次の問題【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】から二題を選び、各々直接解答しなさい。したがって、提出の際は選択した二枚となる。

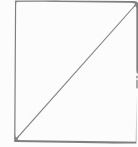
【Ⅰ】

著作権等の関係により問題公表しない。

出典 『西鶴諸国ばなし』

↓ 解答記入不可

3 枚中  
1



文学研究科入学試験問題（解答別紙・直接解答）

博士課程前期課程

〔正規学生（一般・推薦）〕

〔特別学生（社会人）〕

〔特別学生（外国人留学生）〕

日本文学・日本語学領域

〔日本文学・日本語学〕

試験科目

専門外国語科目

受験番号

番

次の問題【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】から二題を選び、各々直接解答しなさい。したがって、提出の際は選択した二枚となる。

↓ 解答記入不可

【Ⅲ】

著作権等の関係により問題公表しない。

出典 『うつほ物語』

3 枚中  
3

二〇二五年度

文学研究科入学試験問題

(解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程

〔正規学生(一般)〕

〔特別学生(社会人)〕

〔特別学生(外国人留学生)〕

日本文学日本語学領域

(日本文学・日本語学)

試験科目

専門基礎科目

受験番号

番

次の甲群三題からは一題を選び、乙の一題、計二題について、各々別紙答案用紙に解答しなさい。

【甲群―一】

以下の①～⑤から二つを選び、二百字程度で説明しなさい。なお、解答する際には必ず自身が選んだ設問の番号を記すこと。

- ① 紀行文としての芭蕉『奥の細道』について
- ② 仮名草子と浮世草子の違いについて
- ③ 古活字本について
- ④ 葛谷重三郎について
- ⑤ 『好色五人女』について

【甲群―二】

次の①～⑤から三つを選んで、出典名もしくは作者名を記し、それぞれについて簡単に解説しなさい。なお、解答する際には必ず自身が選んだ設問の番号を記すこと。

- ① この行長入道、平家物語を作りて、生仏といひける盲目に教へて語らせけり。
- ② 秘すれば花なり。秘せずば花なるべからず。
- ③ 願はくは花のしたにて春死なんそのきさらぎの望月のころ
- ④ 朝に死に、夕に生まるるならひ、ただ水の泡にぞ似たりける。
- ⑤ わが子の小次郎が齢ほどにて、容顔まことに美麗なりければ、いづくに刀を立つべしとも覚えず。

【甲群―三】

以下の①～⑤から二つを選び、二百字程度で説明しなさい。なお、解答する際には必ず自身が選んだ設問の番号を記すこと。

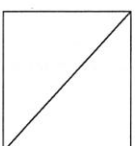
- ① 平安文学における夏
- ② 王朝物語における暴力
- ③ 王朝和歌における菊
- ④ 『源氏物語』玉鬘十帖
- ⑤ 平安文学における葬送

【乙】

次に挙げる項目の中から五つを選択して、それぞれ一〇〇字から二〇〇字程度で説明しなさい。

- 三派鼎立 悲慘小説 芥川賞創設 『戦旗』 写生文
- 岩野泡鳴 『青鞈』 サークル詩 火野葦平 田地文子
- 『細雪』 梁石日 『邪宗門』(詩集) 『第二芸術論』
- 江藤淳 大正教養主義

↓ 解答記入不可



1 枚中

二〇二五年度

文学研究科入学試験問題

〔解答別紙・直接解答〕

博士課程前期課程

〔正規学生（一般）〕

日本文学日本語学領域

〔日本文学・日本語学〕

試験科目

専門科目

受験番号

番

次の甲群からは一題を選び、乙の一題、計二題について、各々別紙答案用紙に解答しなさい。

【甲群―一】

以下について、四百字程度で説明しなさい。

十八世紀の人形浄瑠璃と歌舞伎との関係

【甲群―二】

和漢混淆文について具体的な作品名を挙げながら論述しなさい。

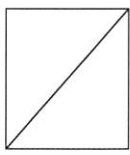
【甲群―三】

平安後期物語の研究上の問題点について、四百字程度で自らの考えを記しなさい。

【乙】

近現代日本において、特定の作品／作家が聖典化（あるいは権威化）するまでにはどのような力学が働くか。具体的な作品／作家名を挙げながら、それが同時代においてどのように受け止められ、それ以降どのような力学の下で名作（家）として登録されるようになったかを説明しなさい。

↓  
解答記入不可



1 枚 中